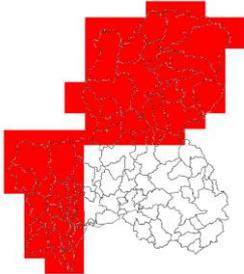


ヒナノキンチャク	<i>Polygala tatarinowii</i> Regel,	絶滅危惧 I 類
(環境省:絶滅危惧 I B 類)		ヒメハギ科
選定理由	成熟固体数が極めて少なく250未満と推定される。	写真(箕浦博之) 
形態の特徴	小型の多年草で、高さ4-15cm。葉は楕円形で長さ1-3cm。花は細長い総状花序につき7-10月頃に咲く。	
生態的特徴	大型の草が生育できないような裸地状の山麓や日向の草地に生える。	
分布状況	本州、四国、九州に分布し、県内では県南の一部と県北の一部に見られる。	
減少要因	自然の遷移や人的攪乱の影響を受けやすく、特に二次的草地の放置による荒地化や森林への移行等で草地の減少が考えられる。	
保全対策	草地の適切な維持管理。	
特記事項		
参考文献	レッドデータプラント 山と溪谷社 絶滅のおそれのある野生生物 岐阜県	
		※生育地保全のため、広範囲の分布図を表示しています。

文責:箕浦博之